

平成 29 年度第 18 回神戸市教育委員会会議の結果

教第 78 号議案 H A T 神戸地域における小学校・特別支援学校建設計画に関する市民意見を募集する件

神戸市灘区南部・中央区東部の児童数、及び神戸市東部の特別支援学校児童生徒数の増加に対応するため、H A T 神戸地域に建設を予定している小学校及び特別支援学校の建設計画（平成 33 年 4 月開校予定）について市民意見募集を行う議案が提案され、可決しました。

意見募集を平成 30 年 3 月 1 日（木曜）から平成 30 年 3 月 30 日（金曜）までの 30 日間行います。

当日の会議では「対象校での説明会に来られていない方や今後入学予定の方々など、関心のある人に情報が周知できるようにしてもらいたい。」「対象地域の方だけではなく市民に向けての意見公募なので、土壌汚染対策の状況も含めて、丁寧な対応をしてもらいたい。」という意見が出ました。



教第 80 号議案 平成 30 年度教職員研修方針の件

平成 30 年度教職員研修方針が提案され、可決しました。

とりわけ教員については、平成 30 年 1 月に策定した神戸市教員育成指標に基づき、各ステージに応じた資質・指導力の向上を図ることとしています。神戸市では、平成 29 年 4 月施行の教育公務員特例法の一部改正法に伴い、従来の教職経験者 8 年目研修を中堅教諭等資質向上研修と位置づけていますが、平成 30 年度からは名称を「中堅教員資質向上研修」と変更します。この研修では、該当教諭が若手教員のメンターとなって O J T を実践するメンター制度を平成 29 年度から実施しています。教員の大量退職、大量採用の状況下で、若手教員の授業力・指導力向上を目指し、学校現場とともに取り組んでいます。

また、特に今年度からの取り組みとして、教職員の多忙化対策の観点から、説明会的な研修についてはできるだけ動画配信に切り替えており、その取組状況について質問がありました。

報告事項3 「平成29年度全国体力・運動能力，運動習慣等調査」の結果について

平成29年度全国体力・運動能力，運動習慣等調査の結果について報告がありました。

実技に関する調査では，50m走や20mシャトルランなど走ることでは全国平均を上回っているものの，小学生では反復横跳び，中学生では長座体前屈が全国平均を特に下回っているという状況でした。

運動習慣等に関する調査については，「運動やスポーツをすることは好き」「体育・保健体育の授業は楽しい」「運動やスポーツは大切」という割合が全国平均を上回っていることなどについて報告がありました。

当日の会議では「神戸市の数値が低いのは課題である。」「測定時の雰囲気によって左右されるところはあるが，経年で見たときに，有酸素運動のシャトルランが中学2年生になって向上しているというのはいいことであり，柔軟性の長座体前屈も落ちていないというのはいいことではないか。」「質問紙の結果を見ると体育の授業は比較的うまくいっていると見て取れるし，運動やスポーツをすることは好きという児童生徒も多いので，好きという気持ちと日常の運動がうまく結び付くように研究してほしい。」という意見が出ました。